

SXF 共通ライブラリの不具合と修正内容について

2012/9/1 OCF 事務局

■ 不具合内容

SXF 仕様 Ver.3.1 に対応した SXF 共通ライブラリ Ver.3.20 において、次の 2 点の不具合を確認しています。

1. 線幅に関する事象

線幅が 0.00001 未満の図形を含んだ P21 ファイル、又は SFC ファイルを開いた場合、Ver.3.20 の SXF 共通ライブラリを使用しているソフトウェアがフリーズします。Ver.3.20 より前の SXF 共通ライブラリを使用している場合は、図形が消える場合があります。

2. P21 ファイルのエラーに関する事象

表 1 に示す対象図形があると、正常な P21 ファイルを開いた場合でもエラーログが出力されます。SXF ブラウザの場合は、エラーログ表示を実行すると表示されます。

表 1 P21 ファイルの対象図形とエラーメッセージ

対象図形	エラーメッセージ
ハッチング	SXF_COMPLEX_INSTANCE : 57001 : 一度も参照されないインスタンス ID です。
クロソイド	CLOTHOID : 54001 : 不適切な ENTITY 名が指定されています。
	TRIMMED_CURVE : 53001 : 参照先のエンティティに誤りがあります。
	AXIS2_PLACEMENT_2D : 57001 : 一度も参照されないインスタンス ID です。
用紙に配置した引出し線	STYLED_ITEM : 50001 : (が存在しません。
	PRESENTATION_STYLE_ASSIGNMENT : 57001 : 一度も参照されないインスタンス ID です。
256 バイトの文字	: 31041 : 256 バイト以上の文字列がありました。256 バイトに切り取ります。

■ 修正内容

SXF 共通ライブラリ Ver.3.20 について上記の不具合を修正し、Ver.3.21としました。修正の内容は次の通りです。

1. 線幅に関する事象

線幅が 0.000001 以上 0.00001 未満の図形を含んだ P21 ファイル、又は SFC ファイルを開いてもフリーズしないで SXF 共通ライブラリは読み込みます。

0.00001 未満の線幅に対応していないソフトウェアの場合は、ソフトウェアの修正も必要なので注意が必要です。

2. P21 ファイルのエラーに関する事象

表 1 に示す対象図形が含まれていても、エラーログを出力しないようにしました。

以上